

## 29 スナヅル 〈クスノキ科スナヅル亜科スナヅル属〉

指定 昭和 45 年 11 月 16 日 町指定天然記念物(植物)

所在地 栗生西宮原

管理者 屋久島町

熱帯から亜熱帯の海岸の砂地に群生するつる性の寄生植物。以前は、佐多町大泊にも生育していたが絶滅したため、屋久島が北限となった。

茎はひも状で無毛、黄色～緑色で細長くのび、分枝してゲンバイヒルガオなどの他の植物にからみつき、茎にできる長い盤状の呼吸根で寄生する。葉は小型の鱗片に退化し、茎から長さ 3～4 の穂状花茎をだし、無柄で約 2 ミリの数個の花をまばらにつけて、下から上に咲き上る。花被片は 6 個、果実は 6 ミリ前後で球形、はじめ緑色であるが、熟すと淡黄色になる。種子は黒褐色で球形。花期 7～10 月、果期 9～10 月。

屋久島、種子島、宝島、琉球、小笠原、台湾、南支～インド、マレーシア、ミクロネシア、豪州、太平洋諸島に広く分布。屋久島では栗生の海岸のみに生育している。